



平成 28 年 12 月 12 日

各 位

会社名 日本カーバイド工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 松尾 時雄
(コード番号 4064 東証第 1 部)
問合せ先 経理部長 角田 尚久
(TEL 03-5462-8212)

(訂正)「平成 24 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成 24 年 2 月 6 日に開示いたしました「平成 24 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正の経緯及び理由

訂正内容及び理由につきましては、本日公表の「決算短信等の訂正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正の箇所には下線を付して表示しております。

以 上

(訂正後)



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月6日

上場取引所 東 大

上場会社名 日本カーバイド工業株式会社
コード番号 4064 URL <http://www.carbide.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河原塚 勝良
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 角田 尚久 TEL 03-5462-8212
四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	36,850	△6.6	1,524	△59.6	1,264	△63.9	619	△69.2
23年3月期第3四半期	39,436	15.1	3,771	101.7	3,501	110.5	2,011	85.2

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 788 百万円 (△42.6%) 23年3月期第3四半期 1,373 百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	8.52	—
23年3月期第3四半期	30.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	57,111	16,970	28.5
23年3月期	55,786	14,615	25.1

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 16,259 百万円 23年3月期 14,012 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	△4.9	1,800	△60.9	1,500	△65.9	400	△85.5	5.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、(添付資料)4ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期3Q	81,940,298株	23年3月期	66,990,298株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	53,846株	23年3月期	52,444株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期3Q	72,763,453株	23年3月期3Q	66,938,298株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成23年11月7日発表の通期連結業績予想を修正しております。
2. 本資料に掲載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する情報	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国では雇用環境の改善など回復傾向が見られるなか、中国を中心とした新興国では底堅い成長に一部減速感が見えはじめ、また、欧州諸国の債務問題が一段と深刻化したことなどにより、景気回復の動きは鈍化したままで推移しました。一方、わが国においては、東日本大震災からの復旧とともに経済活動は緩やかな持ち直しの動きがあるものの、歴史的な円高に伴う輸出の減少や原材料価格の高止まり懸念などにより、依然として、景気の先行きは不透明なまま推移しました。

当社グループを取り巻く環境は、化学業界や電子部品業界においては、原材料価格の高騰による原価高に加え、液晶関連向け製品の需要の落ち込みなどもあり、全般的に厳しい状況で推移しました。一方、建設・建材関連業界においては、住宅着工戸数の回復や震災以降低下していた消費マインドの持ち直しなどにより順調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は 368億5千万円（前年同期比 6.6%減）、営業利益は 15億2千4百万円（前年同期比 59.6%減）、経常利益は 12億6千4百万円（前年同期比 63.9%減）、四半期純利益は 6億1千9百万円（前年同期比 69.2%減）となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間より、PT ALVINY INDONESIA を連結の範囲に含めております。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

(化成品関連製品)

当該事業の主な取扱製品は、ファインケミカル製品、メラミン樹脂、接着製品などであります。

このうち、ファインケミカル製品は電子材料向けなどが低調となり、前年同期比減収となりました。メラミン樹脂関連製品は国内向けは堅調でしたが、海外向けが低調に推移し、前年同期並となりました。接着関連製品は光学関連分野向けが在庫調整などの影響を受けたものの、前年同期比増収となりました。

以上により、化成品関連製品の売上高は116億2千5百万円と前年同期比1億8百万円(0.9%増)の増収、セグメント利益は10億1千8百万円と前年同期比4億4千4百万円(30.4%減)の減益となりました。

(フィルム・シート製品)

当該事業の主な取扱製品は、マーキングフィルム、ステッカー、再帰反射シート、包装用フィルムなどであります。

このうち、マーキングフィルムは国内向けが回復し、前年同期並となりました。ステッカーは東南アジア地域での販売が順調に推移し、前年同期比増収となりました。再帰反射シートは中国並びに欧米向けの低迷に加え、円高進行の影響もあり、前年同期比減収となりました。包装用フィルムは国内向けが低調に推移し、前年同期比減収となりました。

以上により、フィルム・シート製品の売上高は109億5千1百万円と前年同期比2億7千8百万円(2.5%減)の減収、セグメント利益は2億6千5百万円と前年同期比4億6百万円(60.5%減)の減益となりました。

(電子材料製品)

当該事業の主な取扱製品は、セラミック基板、厚膜印刷製品、プリント配線板などであります。

このうち、セラミック基板は液晶関連向けが振るわず、前年同期比減収となりました。プリント配線板は一部震災による影響に加え、情報関連向けが低迷したことにより、前年同期比減収となりました。

以上により、電子材料製品の売上高は58億8千2百万円と前年同期比23億3千3百万円(28.4%減)の減収、セグメント利益は1億2千7百万円と前年同期比12億1千6百万円(90.5%減)の減益となりました。

(建材関連)

当該事業の主な取扱製品は、住宅用アルミ建材などありますが、住宅着工戸数の回復などにより、販売は好調に推移し、前年同期比増収となりました。

以上により、建材関連の売上高は63億4千4百万円と前年同期比9億1千8百万円(16.9%増)の増収、セグメント利益は9千8百万円と前年同期比6千6百万円(206.3%増)の増益となりました。

(エンジニアリング)

当該事業の主な事業内容は、産業プラントの設計・施工などありますが、国内向け工事案件の完工が進み、前年同期比増収となりました。

以上により、エンジニアリングの売上高は45億9千3百万円と前年同期比12億3千1百万円(36.6%増)の増収、セグメント利益は3億4千3百万円と前年同期比3億3千5百万円の増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前期末比13億2千4百万円増加し、571億1千1百万円となりました。

このうち、流動資産は、売上減に伴い受取手形及び売掛金が減少したものの、現金及び預金が増加したことなどにより、前期末比11億9千9百万円増加し、271億2千6百万円となりました。固定資産は、投資その他の資産は減少したものの、有形固定資産が増加したことなどにより、前期末比1億2千5百万円増加し、299億8千4百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前期末比10億3千万円減少し、401億4千万円となりました。

このうち、流動負債は、短期借入金の返済などにより、前期末比9億2千万円減少し、258億1千9百万円となりました。固定負債は、長期借入金は増加したものの、再評価に係る繰延税金負債が減少したことなどにより、前期末比1億1千万円減少し、143億2千1百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、新株発行による増資や四半期純利益の計上などにより、前期末比23億5千4百万円増加し、169億7千万円となりました。この結果、自己資本比率は前期末の25.1%から3.4ポイント改善し、28.5%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績につきましては、円高の進行や欧州での信用不安などによる販売の低迷、中国を中心とした新興国における景気の減速懸念及び液晶関連向けを中心とした需要の落ち込みに加えて、タイ国の洪水による影響など、当社グループを取り巻く事業環境は依然として厳しいものと予想しております。

このような認識のもと、平成23年11月7日に公表しました通期の業績予想を以下のとおり修正しております。

平成24年3月期 通期連結業績予想数値(自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成23年11月7日発表)	51,000	2,600	2,200	1,100	16円13銭
今回修正予想(B)	50,000	1,800	1,500	400	5円50銭
増減額(B-A)	△ 1,000	△ 800	△ 700	△ 700	—
増減率(%)	△ 2.0	△ 30.8	△ 31.8	△ 63.6	—
前期(平成23年3月期)実績	<u>52,588</u>	<u>4,599</u>	<u>4,401</u>	<u>2,766</u>	<u>41円33銭</u>

2. サマリー情報（その他）に関する情報

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

一部の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,670	5,421
受取手形及び売掛金	13,690	12,038
商品及び製品	4,374	5,020
仕掛品	1,476	1,628
原材料及び貯蔵品	1,661	1,767
その他	1,139	1,336
貸倒引当金	△85	△86
流動資産合計	25,927	27,126
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	5,423	5,853
土地	14,034	14,208
その他(純額)	6,128	6,437
有形固定資産合計	25,586	26,498
無形固定資産		
投資その他の資産	412	394
その他	4,068	3,275
貸倒引当金	△208	△184
投資その他の資産合計	3,860	3,090
固定資産合計	29,859	29,984
資産合計	55,786	57,111

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,844	10,276
短期借入金	12,967	12,216
1年内償還予定の社債	200	200
未払法人税等	276	292
賞与引当金	534	602
その他	2,916	2,231
流動負債合計	26,739	25,819
固定負債		
社債	200	—
長期借入金	6,684	7,296
退職給付引当金	2,463	2,619
役員退職慰労引当金	162	183
再評価に係る繰延税金負債	4,446	3,885
負ののれん	32	10
その他	441	325
固定負債合計	14,431	14,321
負債合計	41,171	40,140
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,197	7,034
資本剰余金	1,567	2,404
利益剰余金	2,376	2,875
自己株式	△8	△8
株主資本合計	10,133	12,304
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△294	△386
繰延ヘッジ損益	△18	△28
土地再評価差額金	6,381	6,938
為替換算調整勘定	△2,189	△2,567
その他の包括利益累計額合計	3,879	3,955
少数株主持分	603	710
純資産合計	14,615	16,970
負債純資産合計	55,786	57,111

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	39,436	36,850
売上原価	28,355	27,688
売上総利益	11,081	9,162
販売費及び一般管理費	7,309	7,637
営業利益	3,771	1,524
営業外収益		
受取利息	31	45
受取配当金	66	41
その他	194	214
営業外収益合計	293	301
営業外費用		
支払利息	285	225
為替差損	163	216
その他	114	121
営業外費用合計	562	562
経常利益	3,501	1,264
特別利益		
固定資産売却益	12	43
投資有価証券等売却益	—	1
負ののれん発生益	—	5
貸倒引当金戻入額	14	—
特別利益合計	27	50
特別損失		
固定資産除却損	107	9
投資有価証券等評価損	10	11
減損損失	378	15
災害による損失	—	189
その他	5	1
特別損失合計	501	226
税金等調整前四半期純利益	3,027	1,088
法人税、住民税及び事業税	742	417
法人税等調整額	175	△93
法人税等合計	917	323
少数株主損益調整前四半期純利益	2,110	764
少数株主利益	98	144
四半期純利益	2,011	619

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,110	764
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△90	△99
繰延ヘッジ損益	△13	△10
土地再評価差額金	—	559
為替換算調整勘定	△633	△426
その他の包括利益合計	△736	24
四半期包括利益	1,373	788
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,292	686
少数株主に係る四半期包括利益	81	101

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

	報告セグメント						調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	化成品 関連製品 (百万円)	フィルム・ シート製品 (百万円)	電子材料 製品 (百万円)	建材 関連 (百万円)	エンジニ アリング (百万円)	合計 (百万円)		
売上高								
外部顧客への売上高	11,515	11,228	8,215	5,418	2,355	38,732	703	39,436
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	0	—	7	1,006	1,016	△1,016	—
計	11,517	11,229	8,215	5,426	3,362	39,749	△312	39,436
セグメント利益	1,462	671	1,343	32	9	3,516	△14	3,501

- (注) 1 外部顧客への売上高の調整額703百万円には、決算日の異なる連結会社間取引の調整額179百万円及び請負工事に係る収益計上のうち工事進行基準に基づく売上高585百万円が含まれております。
- 2 セグメント利益の調整額には、棚卸資産に係る未実現損益及び各セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

	報告セグメント						調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	化成品 関連製品 (百万円)	フィルム・ シート製品 (百万円)	電子材料 製品 (百万円)	建材 関連 (百万円)	エンジニ アリング (百万円)	合計 (百万円)		
売上高								
外部顧客への売上高	11,622	10,951	5,882	6,341	3,487	38,283	△1,432	36,850
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	0	—	3	1,106	1,112	△1,112	—
計	11,625	10,951	5,882	6,344	4,593	39,396	△2,545	36,850
セグメント利益	1,018	265	127	98	343	1,850	△586	1,264

- (注) 1 外部顧客への売上高の調整額△1,432百万円には、決算日の異なる連結会社間取引の調整額△308百万円及び請負工事に係る収益計上のうち工事進行基準に基づく売上高△890百万円が含まれております。
- 2 セグメント利益の調整額△586百万円には、棚卸資産に係る未実現損益208百万円及び各セグメントに配分していない全社費用△566百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年9月14日を払込期日とする一般募集による新株式発行及び平成23年9月28日にオーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当による新株式発行を実施いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間において、資本金及び資本準備金が836百万円それぞれ増加し、当第3四半期連結会計期間末における資本金が7,034百万円、資本剰余金が2,404百万円となっております。

(訂正前)



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月6日

上場取引所 東大

上場会社名 日本カーバイド工業株式会社
コード番号 4064 URL <http://www.carbide.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河原塚 勝良
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 角田 尚久 TEL 03-5462-8212
四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	36,917	△6.4	1,642	△56.4	1,382	△60.5	737	△63.3
23年3月期第3四半期	39,436	15.1	3,771	101.7	3,501	110.5	2,011	85.2

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 906 百万円 (△34.0%) 23年3月期第3四半期 1,373 百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	10.14	—
23年3月期第3四半期	30.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	57,466	17,342	28.7
23年3月期	56,027	14,869	25.2

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 16,511 百万円 23年3月期 14,146 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	△4.8	1,800	△61.7	1,500	△66.7	400	△86.2	5.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、(添付資料)4ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期3Q	81,940,298株	23年3月期	66,990,298株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	53,846株	23年3月期	52,444株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期3Q	72,763,453株	23年3月期3Q	66,938,298株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成23年11月7日発表の通期連結業績予想を修正しております。
2. 本資料に掲載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する情報	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国では雇用環境の改善など回復傾向が見られるなか、中国を中心とした新興国では底堅い成長に一部減速感が見えはじめ、また、欧州諸国の債務問題が一段と深刻化したことなどにより、景気回復の動きは鈍化したままで推移しました。一方、わが国においては、東日本大震災からの復旧とともに経済活動は緩やかな持ち直しの動きがあるものの、歴史的な円高に伴う輸出の減少や原材料価格の高止まり懸念などにより、依然として、景気の先行きは不透明なまま推移しました。

当社グループを取り巻く環境は、化学業界や電子部品業界においては、原材料価格の高騰による原価高に加え、液晶関連向け製品の需要の落ち込みなどもあり、全般的に厳しい状況で推移しました。一方、建設・建材関連業界においては、住宅着工戸数の回復や震災以降低下していた消費マインドの持ち直しなどにより順調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は 369億1千7百万円 (前年同期比 6.4%減)、営業利益は 16億4千2百万円 (前年同期比 56.4%減)、経常利益は 13億8千2百万円 (前年同期比 60.5%減)、四半期純利益は 7億3千7百万円 (前年同期比 63.3%減) となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間より、PT ALVINY INDONESIA を連結の範囲に含めております。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

(化成品関連製品)

当該事業の主な取扱製品は、ファインケミカル製品、メラミン樹脂、接着製品などであります。

このうち、ファインケミカル製品は電子材料向けなどが低調となり、前年同期比減収となりました。メラミン樹脂関連製品は国内向けは堅調でしたが、海外向けが低調に推移し、前年同期並となりました。接着関連製品は光学関連分野向けが在庫調整などの影響を受けたものの、前年同期比増収となりました。

以上により、化成品関連製品の売上高は116億2千5百万円と前年同期比1億8百万円(0.9%増)の増収、セグメント利益は10億1千8百万円と前年同期比4億4千4百万円(30.4%減)の減益となりました。

(フィルム・シート製品)

当該事業の主な取扱製品は、マーキングフィルム、ステッカー、再帰反射シート、包装用フィルムなどであります。

このうち、マーキングフィルムは国内向けが回復し、前年同期並となりました。ステッカーは東南アジア地域での販売が順調に推移し、前年同期比増収となりました。再帰反射シートは中国並びに欧米向けの低迷に加え、円高進行の影響もあり、前年同期比減収となりました。包装用フィルムは国内向けが低調に推移し、前年同期比減収となりました。

以上により、フィルム・シート製品の売上高は109億5千1百万円と前年同期比2億7千8百万円(2.5%減)の減収、セグメント利益は2億6千5百万円と前年同期比4億6百万円(60.5%減)の減益となりました。

(電子材料製品)

当該事業の主な取扱製品は、セラミック基板、厚膜印刷製品、プリント配線板などであります。

このうち、セラミック基板は液晶関連向けが振るわず、前年同期比減収となりました。プリント配線板は一部震災による影響に加え、情報関連向けが低迷したことにより、前年同期比減収となりました。

以上により、電子材料製品の売上高は58億8千2百万円と前年同期比23億3千3百万円(28.4%減)の減収、セグメント利益は1億2千7百万円と前年同期比12億1千6百万円(90.5%減)の減益となりました。

(建材関連)

当該事業の主な取扱製品は、住宅用アルミ建材などありますが、住宅着工戸数の回復などにより、販売は好調に推移し、前年同期比増収となりました。

以上により、建材関連の売上高は63億4千4百万円と前年同期比9億1千8百万円(16.9%増)の増収、セグメント利益は9千8百万円と前年同期比6千6百万円(206.3%増)の増益となりました。

(エンジニアリング)

当該事業の主な事業内容は、産業プラントの設計・施工などありますが、国内向け工事案件の完工が進み、前年同期比増収となりました。

以上により、エンジニアリングの売上高は45億9千6百万円と前年同期比12億3千4百万円(36.7%増)の増収、セグメント利益は3億2千6百万円と前年同期比3億1千7百万円の増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前期末比14億3千9百万円増加し、574億6千6百万円となりました。

このうち、流動資産は、売上減に伴い受取手形及び売掛金が減少したものの、現金及び預金が増加したことなどにより、前期末比13億円増加し、272億9千2百万円となりました。固定資産は、投資その他の資産は減少したものの、有形固定資産が増加したことなどにより、前期末比1億3千9百万円増加し、301億7千3百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前期末比10億3千3百万円減少し、401億2千3百万円となりました。

このうち、流動負債は、短期借入金の返済などにより、前期末比9億2千3百万円減少し、258億2百万円となりました。固定負債は、長期借入金は増加したものの、再評価に係る繰延税金負債が減少したことなどにより、前期末比1億1千万円減少し、143億2千1百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、新株発行による増資や四半期純利益の計上などにより、前期末比24億7千2百万円増加し、173億4千2百万円となりました。この結果、自己資本比率は前期末の25.2%から3.5ポイント改善し、28.7%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績につきましては、円高の進行や欧州での信用不安などによる販売の低迷、中国を中心とした新興国における景気の減速懸念及び液晶関連向けを中心とした需要の落ち込みに加えて、タイ国の洪水による影響など、当社グループを取り巻く事業環境は依然として厳しいものと予想しております。

このような認識のもと、平成23年11月7日に公表しました通期の業績予想を以下のとおり修正しております。

平成24年3月期 通期連結業績予想数値(自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成23年11月7日発表)	51,000	2,600	2,200	1,100	16円13銭
今回修正予想(B)	50,000	1,800	1,500	400	5円50銭
増減額(B-A)	△ 1,000	△ 800	△ 700	△ 700	—
増減率(%)	△ 2.0	△ 30.8	△ 31.8	△ 63.6	—
前期(平成23年3月期)実績	<u>52,529</u>	<u>4,705</u>	<u>4,506</u>	<u>2,900</u>	<u>43円33銭</u>

2. サマリー情報（その他）に関する情報

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

一部の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,670	5,421
受取手形及び売掛金	<u>13,616</u>	<u>12,028</u>
商品及び製品	4,374	5,020
仕掛品	<u>1,517</u>	<u>1,703</u>
原材料及び貯蔵品	<u>1,757</u>	<u>1,869</u>
その他	1,139	1,336
貸倒引当金	<u>△85</u>	<u>△86</u>
流動資産合計	<u>25,992</u>	<u>27,292</u>
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	<u>5,439</u>	<u>5,881</u>
土地	14,034	14,208
その他（純額）	<u>6,139</u>	<u>6,449</u>
有形固定資産合計	<u>25,612</u>	<u>26,539</u>
無形固定資産	412	394
投資その他の資産		
その他	<u>4,217</u>	<u>3,423</u>
貸倒引当金	<u>△208</u>	<u>△184</u>
投資その他の資産合計	<u>4,008</u>	<u>3,239</u>
固定資産合計	<u>30,034</u>	<u>30,173</u>
資産合計	<u>56,027</u>	<u>57,466</u>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,844	10,276
短期借入金	12,967	12,216
1年内償還予定の社債	200	200
未払法人税等	276	292
賞与引当金	534	602
その他	2,902	2,214
流動負債合計	26,725	25,802
固定負債		
社債	200	—
長期借入金	6,684	7,296
退職給付引当金	2,463	2,619
役員退職慰労引当金	162	183
再評価に係る繰延税金負債	4,446	3,885
負ののれん	32	10
その他	441	325
固定負債合計	14,431	14,321
負債合計	41,157	40,123
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,197	7,034
資本剰余金	1,567	2,404
利益剰余金	2,510	3,127
自己株式	△8	△8
株主資本合計	10,267	12,556
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△294	△386
繰延ヘッジ損益	△18	△28
土地再評価差額金	6,381	6,938
為替換算調整勘定	△2,189	△2,567
その他の包括利益累計額合計	3,879	3,955
少数株主持分	723	831
純資産合計	14,869	17,342
負債純資産合計	56,027	57,466

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	39,436	36,917
売上原価	28,355	27,641
売上総利益	11,081	9,275
販売費及び一般管理費	7,309	7,632
営業利益	3,771	1,642
営業外収益		
受取利息	31	45
受取配当金	66	41
その他	194	214
営業外収益合計	293	301
営業外費用		
支払利息	285	225
為替差損	163	216
その他	114	121
営業外費用合計	562	562
経常利益	3,501	1,382
特別利益		
固定資産売却益	12	43
投資有価証券等売却益	—	1
負ののれん発生益	—	5
貸倒引当金戻入額	14	—
特別利益合計	27	50
特別損失		
固定資産除却損	107	9
投資有価証券等評価損	10	11
減損損失	378	15
災害による損失	—	189
その他	5	1
特別損失合計	501	226
税金等調整前四半期純利益	3,027	1,206
法人税、住民税及び事業税	742	417
法人税等調整額	175	△93
法人税等合計	917	323
少数株主損益調整前四半期純利益	2,110	882
少数株主利益	98	144
四半期純利益	2,011	737

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,110	882
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△90	△99
繰延ヘッジ損益	△13	△10
土地再評価差額金	—	559
為替換算調整勘定	△633	△426
その他の包括利益合計	△736	24
四半期包括利益	1,373	906
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,292	804
少数株主に係る四半期包括利益	81	101

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

	報告セグメント						調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	化成品 関連製品 (百万円)	フィルム・ シート製品 (百万円)	電子材料 製品 (百万円)	建材 関連 (百万円)	エンジニ アリング (百万円)	合計 (百万円)		
売上高								
外部顧客への売上高	11,515	11,228	8,215	5,418	2,355	38,732	703	39,436
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	0	—	7	1,006	1,016	△1,016	—
計	11,517	11,229	8,215	5,426	3,362	39,749	△312	39,436
セグメント利益	1,462	671	1,343	32	9	3,516	△14	3,501

- (注) 1 外部顧客への売上高の調整額703百万円には、決算日の異なる連結会社間取引の調整額179百万円及び請負工事に係る収益計上のうち工事進行基準に基づく売上高585百万円が含まれております。
- 2 セグメント利益の調整額には、棚卸資産に係る未実現損益及び各セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

	報告セグメント						調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	化成品 関連製品 (百万円)	フィルム・ シート製品 (百万円)	電子材料 製品 (百万円)	建材 関連 (百万円)	エンジニ アリング (百万円)	合計 (百万円)		
売上高								
外部顧客への売上高	11,622	10,951	5,882	6,341	<u>3,490</u>	<u>38,286</u>	<u>△1,369</u>	<u>36,917</u>
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	0	—	3	1,106	1,112	△1,112	—
計	11,625	10,951	5,882	6,344	<u>4,596</u>	<u>39,399</u>	<u>△2,482</u>	<u>36,917</u>
セグメント利益	1,018	265	127	98	<u>326</u>	<u>1,833</u>	<u>△451</u>	<u>1,382</u>

- (注) 1 外部顧客への売上高の調整額△1,369百万円には、決算日の異なる連結会社間取引の調整額△308百万円及び請負工事に係る収益計上のうち工事進行基準に基づく売上高△827百万円が含まれております。
- 2 セグメント利益の調整額△451百万円には、棚卸資産に係る未実現損益208百万円及び各セグメントに配分していない全社費用△566百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年9月14日を払込期日とする一般募集による新株式発行及び平成23年9月28日にオーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当による新株式発行を実施いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間において、資本金及び資本準備金が836百万円それぞれ増加し、当第3四半期連結会計期間末における資本金が7,034百万円、資本剰余金が2,404百万円となっております。